

第6学年2組 家庭科 学習指導案

指導者 教諭 小菌 裕太郎

1 題材の構想 生活を変えるチャンス！ (東京書籍) A(4)ア

の児童の姿	自分や家族・地域の生活に関心を持ち、これまでの家庭科での学習を生かして、日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、生活の営みに係る見方・考え方やSDGsの項目などを考慮しながら、よりよい生活を考えて、計画を立てて実践しようとしている。	
	【思考力、判断力、表現力等】	「学びに向かう力、人間性等」
題材の目標	<ul style="list-style-type: none"> 家庭の仕事または家族・地域との関わりについて日常生活の中から課題を設定し、工夫して計画を立てる。 課題解決に向けて実践し、結果を評価、改善する。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族・地域の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事または家族・地域との関わりに関する課題解決に向けて主体的に取り組む。 家族・地域の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事または家族・地域との関わりに関する課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。
目標に向かうための手立て	<p>○ 研究の視点</p> <p>【視点1 課題設定の工夫】 設定家族の1日から課題を見付け、自分の家庭の課題と結び付けることや、前回の実践からの気づきや改善点をもとにパワーアップポイントを考えることで、新たな課題もしくは同じ課題に対しての新たな取組に活かすというねらいを明確にする。</p> <p>【視点2 指導の工夫】 パワーアップポイントをもとに、自分の家庭や地域の人々との関わりの中での新たな課題へとつながりたい。その時に、前回のレポートやこれまで学習してきた題材の振り返りシートから、気づきや改善点を共有し、アドバイスをし合うことで、持続可能で、よりよい生活の改善のヒントとなるようにする。</p> <p>【視点3 振り返りの工夫】 今までの学習や、授業の終末を振り返ることで、実践に向けた意欲の向上と課題解決に向けた取組をよりよいものにする。課題と改善策はメタモジのシートにまとめ、モニタリング機能を活用しながら展開していくようにする。</p>	
児童の実態	<ul style="list-style-type: none"> ○全員が家庭科は将来役に立つと考えている一方で、「今の自分に役立っているか」という問いに対して役立っていると答えた児童は半数に留まった。 ○自分の生活を変えたいと考えている児童は全体の6割だった。今の生活に課題を感じている児童は少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○約6割の児童が家庭科は好きと答えている。苦手と感じている児童はクラスの半数いる。しかし、クラスの全員、家庭科は役に立つと回答している。 ○家庭科で学習したことを家庭で実践している児童は約7割である。 ○SDGsを意識して生活している児童は全体の5割であった。

題材の評価基準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①家庭の仕事または家族・地域との関わりについて日常生活の中から問題を見だし、課題を設定している。 ②家庭の仕事または家族・地域との関わりに関する課題解決に向けて、よりよい方法を考え、計画を工夫している。 ③家庭の仕事または家族・地域との関わりに関する課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。 ④家庭の仕事または家族・地域との関わりに関する課題解決に向けて実践した結果を評価・改善している。	①家族・地域の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事または家族・地域との関わりに関する課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ②家族・地域の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事または家族・地域との関わりに関する課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ③家族・地域の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事または家族・地域との関わりに関する課題を見つけ、次の実践に取り組もうとしている。

指導と評価の計画（3時間取り扱い ●本時 1/3）

課題	次	時	主たる学習活動	評価する内容と方法等
よく家族や地域のためによりよい生活を実現し	1	1	●自分の生活を見つめ、問題を見だし、学習課題を設定する。	【思】①学習シート 【主】①振り返りシート
		課外	○家族とともに仮課題について話し合い、決定する。	【主】①学習シート
	2	1	○実践するための計画を立てる。	【思】②実践レポート
		課外	○家庭で実践する。 ○実践報告書を作る。	【思】③実践レポート 【主】②振り返りシート
	3	1	○実践報告会を開き、これからの生活に活かせることを考える。	【思】④学習シート 【主】③振り返りシート

2 本時の授業計画

(1) 本時の目標

今まで学習してきたことを生かして、日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、よりよい生活を考えることができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動	○主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	○教師の支援 ◎評価	備考 ・ICT機器等
導入	12	1 本時の学習課題を見つける。 (1) 昨年行った実践を振り返る。 (2) 設定家族の一日の中から課題を見つける練習をする。	○今までどんなことを学習してきましたか。 ・ゆでる、炒める等の調理ができるようになった。 ○昨年の実践からの気づきや現在の様子からよりよくできそうなパワーアップポイントを考えよう。 ・SDGsの視点 ・身近なものを使って	○昨年の課題と実践のシートを振り返らせる。 ○設定家族の中で地域を取り扱い、地域への視点も広げられるようにする。	電子黒板 昨年のレポート タブレット(キーノート) 設定家族電子黒板
		よりよい生活をするために、家族や地域に向けたパワーアップ大作戦を考えよう。			
展開	10	2 生活の営みに係る見方・考え方やSDGsの視点も考慮しながら、自分の家の課題を考え、友達とも話し合い、さらに改善する。	○自分の家庭について課題を考えてみましょう。 ・自分もこの設定家族と同じようなことがあった。	○課題となる観点は生活の営みに係る見方・考え方やSDGsを参考にさせる。 ○対象を明確にし、相手意識と目的意識を持てるようにする。	タブレット(メタモジ)
	15	3 友達の考えを聞き、課題を仮決定する。	○友達と相談してどのような改善策があるか考えてみましょう。 ・買うのではなく家の物を利用するとSDGsにつながるよ。 ・うちのみそ汁の野菜は炒めているから美味しいよ。 ○家族や地域のためにできる課題を設定しましょう。	◎【思】①日常生活の中から家族や地域の方に向けた課題を設定できているか。 ○導入で扱ったパワーアップポイントを参考にするように声掛けを行う。	
終末	8	4 次時の学習を知り、本時の学びを振り返る。	○家の人と相談して決定したら、計画を立てます。 ○本時の振り返りをしましょう。	◎【主】①家族・地域の一員として、生活をよりよくしようと、課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	タブレット(メタモジ)